

ひとりごと

「原点」

教育行政に関わるようになって、何度も大学時代を思い出す。大学受験時、私は、教員になるか迷っていた。教育学部と法学部やその他学部合格し、迷った末に、教育学部ではなく、法学部に進学した。

教員に興味を持った理由は、純粋に人を教えることが好きで、自分の教えや説明で理解してくれることが何よりも嬉しく、人のためになったと実感することができたためだ。併せて、教育分野にも興味を抱いた。教えることが好きだった私は、大学時代は学習塾のアルバイトを4年間全うし、集団授業や個別授業を数えきれないほど行った。

法学部で法律を学ぶ中で、法律の知識を生かした仕事に就きたいと考えるようになり、いつしか行政マンを目指す道を歩み始めた。行政マンになって、教育委員会に配属されたら、法律×教育の掛け算で、世のため人のために貢献できると夢を抱きながら、行政マンとしての門を叩いた。

入庁後は、5年間福祉業務を一生懸命行った。初めての異動発表で、予想もしていなかった文部科学省への派遣が決定した。すると、行政マンになりたての頃に抱いていた夢が、自然と蘇ってきた。私は教育と深い縁があると確信している。夢の時間はまだ始まったばかり、世のため人のために貢献できるようこれから道を切り拓いていく。

(N.T)

「教育委員会月報 令和5年5月号 No.883」

- ・発行・著作 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
- ・〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
- ・TEL : 03-5253-4111 (代表)
- ・URL : <https://www.mext.go.jp>



文部科学省